

児童会活動で、ペットボトルのキャップを集めています。4月から7月までの間に集める目標は、10000個でした。7月までの4ヶ月間に集めた個数は、下の表のとおりです。

7月までの4か月間に集めた個数

月	4月	5月	6月	7月
個数(個)	1891	1982	2903	2473

次の会話を読んで、あとの問いに答えましょう。



まなぶ

集めた個数の合計は、目標に達しているかな。



はるか

目標に達しているかどうかなら、およその数にして計算すればわかります。

およその数にする方法は、次の3通りがあります。

- ・ しやごにゆう 四捨五入する
- ・ きす 切り捨てる
- ・ 切り上げる



ゆうと

切り捨てて、千の位までのおよその数にして計算すると、次のようになります。

実際の数	1891	1982	2903	2473
	↓	↓	↓	↓
およその数の計算	1000	+ 1000	+ 2000	+ 2000 = 6000

実際の数より小さい数にして和が6000だから、集めた個数の合計が6000個以上であることはわかります。

(1) 四捨五入して計算します。次の①の式に入る数と、②に入る数を書きましょう。

四捨五入して、千の位までのおよその数にして計算すると、次のようになります。

実際の数	1891	1982	2903	2473	
	↓	↓	↓	↓	
およその数の計算	□	+ □	+ □	+ □	= □②
	①				

実際の数に近い数にして和が □② だから、集めた個数の合計が約 □② 個であることはわかります。

①

1891	1982	2903	2473
↓	↓	↓	↓
□	+ □	+ □	+ □

②

□

(2) 切り上げて計算します。次の③に入るふさわしい文を、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

切り上げて、千の位までのおよその数にして計算すると、次のようになります。

実際の数	1891	1982	2903	2473
	↓	↓	↓	↓
およその数の計算	$2000 + 2000 + 3000 + 3000 = 10000$			

③

ことがわかります。

- 1 実際の数より大きい数にして和が10000だから、目標に達している。
- 2 実際の数より大きい数にして和が10000だから、目標に達していない。
- 3 実際の数より小さい数にして和が10000だから、目標に達している。
- 4 実際の数より小さい数にして和が10000だから、目標に達していない。

(3) 9月から12月までの間に集める目標も、10000個です。11月までの3ヶ月間に集めた個数は、下の表のとおりです。

11月までの3か月間に集めた個数

月	9月	10月	11月
個数(個)	3009	2514	2120

はるかさんは、目標に達するには、12月におよそ何個のキャップを集めればよいかを、次のように考えました。

はるかさんの考え

3か月間に集めた個数の合計を、次のようにして計算します。

実際の数	3009	2514	2120
	↓	↓	↓
およその数の計算	$3000 + 2000 + 2000 = 7000$		

目標の10000個に達するには、12月に3000個集めればよいはず
です。

はるかさんの【およその数の計算】は、12月に3000個集めればよいことがわかります。実際の数で計算しなくても、12月に3000個集めればよいことがわかるのはなぜですか。

そのわけを、言葉と数を使って書きましょう。

児童会活動で、ペットボトルのキャップを集めています。4月から7月までの間に集める目標は、10000個でした。7月までの4ヶ月間に集めた個数は、下の表のとおりです。

7月までの4か月間に集めた個数

月	4月	5月	6月	7月
個数(個)	1891	1982	2903	2473

次の会話を読んで、あとの問いに答えましょう。



集めた個数の合計は、目標に達しているかな。



目標に達しているかどうかなら、およその数にして計算すればわかります。

およその数にする方法は、次の3通りがあります。

- ・ しやごにゆう 四捨五入する
- ・ きす 切り捨てる
- ・ 切り上げる



切り捨てて、千の位までのおよその数にして計算すると、次のようになります。

実際の数	1891	1982	2903	2473
	↓	↓	↓	↓
およその数の計算	1000	1000	2000	2000

$$1000 + 1000 + 2000 + 2000 = 6000$$

実際の数より小さい数にして和が6000だから、集めた個数の合計が6000個以上であることはわかります。

(1) 四捨五入して計算します。次の①の式に入る数と、②に入る数を書きましょう。

四捨五入して、千の位までのおよその数にして計算すると、次のようになります。

実際の数	1891	1982	2903	2473
	↓	↓	↓	↓
およその数の計算	□	□	□	□

$$\square + \square + \square + \square = \textcircled{2}$$

①

実際の数に近い数にして和が $\textcircled{2}$ だから、集めた個数の合計が約 $\textcircled{2}$ 個であることはわかります。

①

1891	1982	2903	2473
↓	↓	↓	↓
2000	2000	3000	2000

$$2000 + 2000 + 3000 + 2000$$

②

9000

(2) 切り上げて計算します。次の③に入るふさわしい文を、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

切り上げて、千の位までのおよその数にして計算すると、次のようになります。

実際の数	1891	1982	2903	2473
	↓	↓	↓	↓
およその数の計算	$2000 + 2000 + 3000 + 3000 = 10000$			

③

ことがわかります。

- 1 実際の数より大きい数にして和が10000だから、目標に達している。
- 2 実際の数より大きい数にして和が10000だから、目標に達していない。
- 3 実際の数より小さい数にして和が10000だから、目標に達している。
- 4 実際の数より小さい数にして和が10000だから、目標に達していない。

(3) 9月から12月までの間に集める目標も、10000個です。11月までの3ヶ月間に集めた個数は、下の表のとおりです。

11月までの3か月間に集めた個数

月	9月	10月	11月
個数（個）	3009	2514	2120

はるかさんは、目標に達するには、12月におよそ何個のキャップを集めればよいかを、次のように考えました。

はるかさんの考え

3か月間に集めた個数の合計を、次のようにして計算します。

実際の数	3009	2514	2120
	↓	↓	↓
およその数の計算	$3000 + 2000 + 2000 = 7000$		

目標の10000個に達するには、12月に3000個集めればよいはず
です。

はるかさんの【およその数の計算】は、12月に3000個集めればよいことがわかります。実際の数で計算しなくても、12月に3000個集めればよいことがわかるのはなぜですか。

そのわけを、言葉と数を使って書きましょう。

(例)

実際の数より小さい数にして和が7000だから、集めた個数の合計が7000個以上であることがわかります。
だから、実際に足りない個数は3000個以下です。つまり、12月に3000個集めれば目標の10000個に達するからです。